



① プロジェクトの軌跡

「わがまち魅力化プロジェクト」は、故 安田泰敏棋士・九段（元 東京富士大学客員教授）のご提案で、（前）東京富士大学・黒田秀雄教授（現・一般財団法人日本総合研究所 特任研究員、一般社団法人 COLLEGA 理事）が担当していた東京富士大学企業ビジネス同好会が中心となって企画立案し、地域おこし協力隊や地元の住民の皆さま、事業者などの関係者と連携しながら実践活動をスタートしました。2年目から私たちも、その連携の枠組みに参画し、大学と地域を結ぶコーディネーターとして、企画立案や調整等の役割を担ってきました。

プロジェクトの目的は、都市部で生活している大学生が、少子高齢化や過疎化等の問題を抱える地方のまちに滞在し、地域の方々との交流やフィールドワークを通じて、まちの魅力や課題を探り、その地域の魅力化案（事業化案）を提案するものです。大学生たちの成長面に着目すると、事前学習やフィールドワークを経て、大学生自身が成長するための体験学習の一環といえます。

プロジェクトは、これまでに鳥取県日野町（2016～18年）、山梨県市川三郷町（2019～22年）をフィールドとして実践活動を行ってきました。日野町では地元の方々の協力もあって、大学生から提案された事業プラン（3年間で13案件）のうち5案件が実現に至りました。

少子高齢化や過疎化、それに伴い生じている生活課題・社会課題を抱える地域は全国各地にあります。このプロジェクトを各地に広めていくため、一つのフィールドにおいて3年間という期限を設けて取り組むことを基本方針としています。次なる実践活動のフィールドを探していたところ、静岡県松崎町において受け入れていただくことになりました。

② プロジェクトの目的

都市部の大学生が松崎町に滞在し、町民や事業者との交流やフィールドワークを通じて、地域の魅力や課題を探り、その地域の魅力化案（事業化案）を提案する。

《企画意図》

- ・大学生のアイデアを松崎町の魅力化や地域おこしに役立てていただく。
- ・参加学生にとっては、過疎地域の問題や田舎の環境に直に触れる経験となり、住民との交流や他大学の学生との交流など有意義な活動となる。
- ・地元の皆さまにとっては、都市部の若者とのつながりにより、今後も地域おこしをはじめ様々な連携が期待できる。

3 実施期間とプログラム

日	時	内容
9月17日 (1日目)	13:30~14:30	松崎町役場集合 ⇒ 開会式(@松崎町役場 研修室)
	14:30~17:30	まち歩き(中宿通りなど)
	17:30~19:00	旧山田邸到着 ⇒ MTG(チーム作業)
	19:00	夕食(交流会)
9月18日 (2日目)	9:00	朝食後、旧山田邸出発
	9:00~10:45	【フィールドワーク】石部棚田(視察&ヒアリング)
	10:45~11:15	雲見海岸
	11:15~12:00	岩地・洞窟(視察&ヒアリング)
	12:00~13:00	昼食(@道の駅 花の三聖苑)
	13:00~14:00	旧依田邸(視察&ヒアリング)
	14:00~14:30	よりみち売店
	14:30~15:00	伊豆の長八美術館(視察)
	15:00~16:00	岩科学校
	16:00~17:00	アゼミチカフェ(ヒアリング)
17:00	旧山田邸到着後、夕食づくり(自炊) ⇒ 昼食後、適宜MTG	
9月19日 (3日目)	9:00	朝食後、旧山田邸出発
	9:00~14:00	【チーム自由散策&ヒアリング】
		●Aチーム グランピング、服屋、直売所、住民など
		●Bチーム 旅館、カフェ、カヤック&キャンプ、ポンカン農園など
		●Cチーム 旅館、観光協会など
		※適宜、昼食等
		14:00~18:00
18:00	夕食 ⇒ 夕食後、報告会用のプレゼン資料づくり	
9月20日 (4日目)	9:00	朝食後、移動
	10:00~12:30	プレゼン大会(@松崎町役場 研修室) ⇒ 終了後、マスコミ取材対応
	12:30~14:00	昼食(@ふれあいとーふや)
	14:00	終了・解散

4 参加学生

主に都市部の大学に通う大学生 13 名（男子学生 6 名、女子学生 7 名）

大学	人数(学年・性別)
国際基督教大学	1名(3年女子1名)
都留文科大学	4名(2年女子2名、3年男子2名)
東京富士大学	7名(2年女子1名、3年男子4名、4年女子2名)
横浜国立大学	1名(博士後期課程1年女子1名)

5 プロジェクトの目指すところ

「事業化案」の目指すところは、スモールスタート。

- マネジメント（経営学）的な視点で地域を見ること。
- 多様な地域資源を見聞・体験し、その価値を最大限活かすこと。
- お金や人手、時間をかけずに実現可能な提案をすること。

6 実施体制

共催：東京富士大学 企業ビジネス研究同好会

一般財団法人日本総合研究所

一般財団法人社会開発研究センター

一般社団法人 COLLEGA（コッレーガ）

後援：松崎町

協力：松崎町の町民・事業者の皆さま

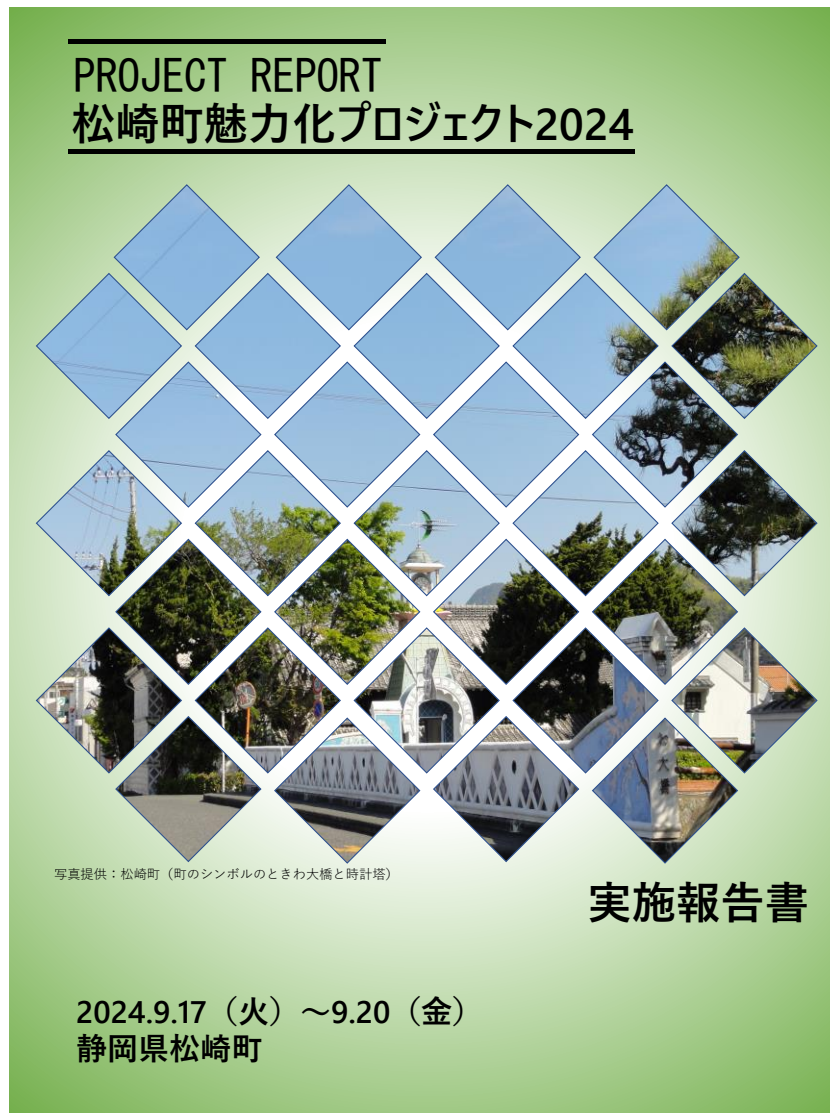
国際基督教大学 都留文科大学 横浜国立大学

（編集者：一般財団法人 日本総合研究所 加藤恵一）

「松崎町魅力化プロジェクト 2024」実施報告書のご案内

「松崎町魅力化プロジェクト 2024」の活動内容等を取りまとめた実施報告書を作成しました。参加学生たちの提案内容や感想のほか、関係者や協力事業者、町の住民の方々からのコメントを掲載しています。

参考まで、次ページ以降にて「フォトレポート」をご紹介します。



【実施報告書に関するお問合せ先】

一般社団法人 COLLEGA（コッレーガ） 担当：内田

〒102-0084 東京都千代田区二番町 5 番 7 号 JP ビル

（一般財団法人日本総合研究所内）

Email：uchida アットマーク collega.or.jp ※アットマークを@に変換してください

URL：https://collega.or.jp/

DAY1
2024.9.17



DAY2
2024.9.18





DAY3
2024.9.19



DAY4
2024.9.20

